

阪神北地域新設特別支援学校(仮称)の整備に関する説明会と現地見学会が3月26日(土)、北陵公民館で行われ、私(黒田)も参加しました。

伊藤建設(株)による造成工事は昨年12月に完了し、柄谷・川見特別共同企業体が鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階建塔屋1階の工事が始まります。工期は2023(令和5)年10月31日、2024年4月1日に開校する予定です。

工事内容やスケジュール、工事時間や搬入車両の予定などの説明後、参加者から工事車両の進入路や安全対策、周辺地域への影響などの質疑・意見が出され、説明会後、現地を見学しました。(県ホームページに説明会の内容などが掲載されています)

工事作業などの質疑

工事作業は原則月々土の午前8時〜午後5時30分で、前後30分はミーティングや片付け等。作業員は最大150人、出勤時間は通学時間帯(7:30〜8:30)を避け、車で乗合いグラウンドに駐車とのこと。5月半ばから生コン車(1日65台)、10tダンプ(1日25台)などの車両が進入。杭重機の搬入は早朝・夜間の予定。従来通り、進入路についてなど安全第一、コミュニケーション協議会や自治会、県や市の担当部局と連携を取り進められます。

特別支援学校 2024年4月に開校 本館など建設がはじまります(丸山台3)

工事進行などの「予定看板の設置や市道の維持・管理・補修」「造成や建物の耐震等構造設計、避難経路や防火水槽の確保等」「開校後の下水・汚水処理と近隣住宅への影響」についての質問に対して、専門部署の担当者が説明。開校後の避難所指定については市と協議し、体育館やグラウンドの使用・カフェスペースの設置など地域に開かれた学校になる取り組みが検討されていると説明がありました。

「近隣のみなさまへ」

「近隣のみなさまへ」と工事のお知らせがポスティングされましたが、4月15日、工事車両運行ルート変更のお知らせが戸配されていました。路線バスと大型車両のすれ違いを避けるため、工事車両の退場をカリヨンのバスルートにするという内容です。地域の安全・安心第一で進められるよう、引き続き、私(黒田)も注視していきます。お気づきのことなどあれば教えてください。

たんぼぼだより 231号でもお伝えしていた「支援学校建設に伴うテレビ電波受信対策工事」について

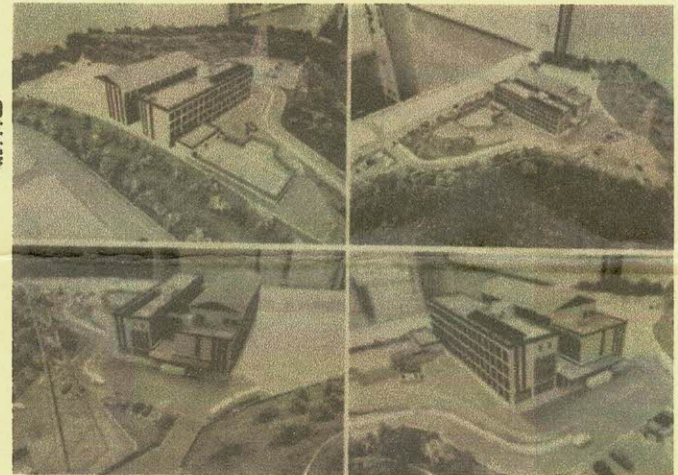
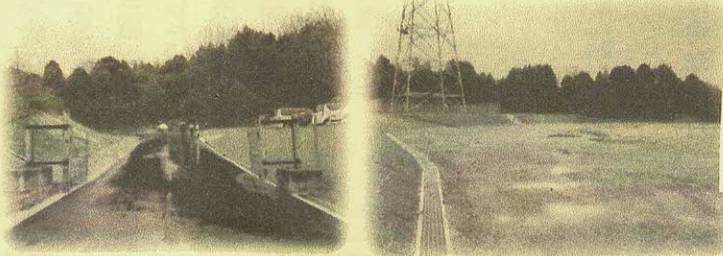
では、4月に兵庫県と契約を交わした「J:COM ウェスト」が、身分が明らかになる物等を提示して各戸に個別対応(約60件)することになっています。(お問合せは、*電話 078-362-9372 FAX 078-362-4286)

説明会で掲示された完成図

現地の様子など整備の情報を掲載しています(特別支援教育課 HP)



説明会后、現地造成地



大和～山下～平野間、市の補助路線変更(案)の内容等について

バス運行案		現行		A案	
		平日	土休日	平日	土休日
台数・運転士数		4台・5人	3台・3人	2台・3人	1台・1人
便数	大和	38	21	38	12
	平野～山下	32(100)	16(67)	6(100)	4(67)
	合計	53	21	44	16
運賃	多田 GH 以外	160円		220円	
	多田 GH	220円		220円	
経費		77261千円		44118千円	
32万人利用時 収入から試算	収入	40298千円		30562千円	
	収支差	▲36963千円		▲13556千円	
23万人利用時 収入から試算	収入	30214千円		22914千円	
	収支差	▲47047千円		▲21204千円	

※ ()内は阪急バス(株)が平野駅～陽明小学校前において運行している便数(市補助路線便数除く)

※ 32万人～2018年10月～2019年9月実績
23万人～2020年10月～2021年9月実績 (市の資料より)



ロシアは侵略やめろ！
戦争やめろ！
ウクライナへ支援を♡



「戦争」という言葉を「死語」に ウクライナへの支援カンパ

4月14日、黒田事務所(笹部)に『戦争』は最大の悪。『戦争』という言葉 人類から『死語』にしよう！「生きるんだよお～ウクライナの子どもたち！」と書かれた封筒でウクライナへの支援カンパが届きました。

この間、私(黒田)は地域の皆さんと一緒に、あちらこちらで支援募金のお願いをしています。コンビニから出て来られた方が「買い物のおつりやけど」。通りがかりの方が「気持ちを届けてね」と。私(黒田)がお預かりをした募金31400円は振込みを完了。

日本共産党が全国から預かった募金は、1億1670万7049円に達し(4月11現在)、全額を国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)、国連児童基金(ユニセフ)、赤十字国際委員会(ICRC)に届けています。

一刻も早い停戦、ロシア軍の撤退、戦争が終わることを願いながら、引き続き募金活動に取り組みますので、ご協力よろしくお願ひします。